

会 議 録

会議名 (審議会等名)	平成21年度第2回東小金井駅北口まちづくり協議会		
事務局 (担当課)	開発事業本部区画整理課		
開催日時	平成21年7月28日(火) 19時00分～21時00分		
開催場所	小金井市開発事業本部区画整理課事務所内		
出席者	委員	大沢昌玄・加藤常雄・佐藤伸朗・池亀吉信・大矢榮子・鴨志田春雄 高木 裕・土屋隆男・土屋晴彦・中村昭英・信山勝由・高橋清徳 立川 明	
	新都市等	高麗 誠・大須賀稔博・馬場勝彦・芳賀 稔・松下佳広	
	事務局	武田光一・高橋 智・岡崎健次・梅原啓太郎・吉永浩一郎・原嶋薫・穠山琢也	
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	3名
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1 開会 2 議題 駅前広場や駅前公園、都市計画道路等の整備の基本方針の検討 (駅前広場や駅前公園、都市計画道路等の目標像の検討とそれ ぞれに対する意見) 3 その他 4 閉会		
会議結果	協議会の進め方の変更について事務局より説明を行なった。 駅前広場や駅前公園、都市計画道路等の目標像の検討について事務局より 説明をし、話し合いを行った。 次回協議会の開催日を10月19日に決定した。		
提出資料	1. 次第 2. 資料1、資料2-1～2-3		

審議経過

- 会長 定刻になりましたので、ただ今から平成21年度第2回東小金井駅北口まちづくり協議会を開催いたします。
- 本日の進行につきましては、お手元の次第に沿って進めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。
- 始めに、本日、A委員とB委員から欠席の連絡をいただいておりますので、ご報告申し上げます。
- 前回の協議のなかでは、駅前広場や駅前公園の一体的な利用はできないかというソフト面での話もあって、私自身も非常に参考になりました。それから、まちづくりとは何なのかというお話もあり、考えさせられるものでありました。ひとつの答えとしては、こうやって皆さんと会議をすること自体がまちづくりだと思います。また、家に帰ってから家族の方と話し合われたり、まちの見学など勉強したりする、そのような皆さんの参加する姿勢がまちづくりではないかと思います。そのようなことを踏まえながら、今日は駅前広場や駅前公園、都市計画道路等の基本方針について皆さんと意見交換をしていきたいと思います。
- 事務局 まず配布資料を確認させていただく前に、前回欠席されていた委員の方がいらっしゃいましたので、ご紹介をさせていただきます。
- 公募委員の方をご紹介いたします。
- (公募の委員の紹介)
- 続きまして、商業者代表の委員の方をご紹介いたします。
- (商業者代表の委員の紹介)
- それでは配布資料の確認をさせていただきます。
- (配布資料等の確認)
- それでは議題に入らせていただきたいのですが、最初に今後の協議会の進め方について、一部変更させていただきたいと考えておりますので、ご説明させていただきます。
- (協議会の進め方の変更について説明)
- 会長 基本方針の検討は大事なことなので、十分に時間をとって議論したいということで、スケジュールの変更が行われたのだと思います。
- C委員 公共施設を検討する回数が増えたということでしょうか。
- 事務局 そういうことです。公共施設全体の基本方針を検討するにあたって、皆さんに共通認識を持っていただけるように、検討回数を1回増やすという変更です。
- D委員 議論がまとまった段階で一度現場視察をした方が、共通イメージを持つことができると思います。
- 会長 現場視察を行い、その場で議論をするのも大きな成果になると思います。
- 事務局 現場視察は、見ていただけるように検討します。
- 会長 スケジュールの変更は、十分に皆で議論できる時間を設けるための、事務局としての配慮とご理解下さい。
- 事務局 皆様のご理解をいただいたということで、議題に移らせていただきます。
- (コンサルタントより、議題内容についての説明及び事例の紹介。事務局より、駅前広場と駅前公園の一体的な利用がされた事例として、武蔵小金井

駅での事例の紹介)

会長 事務局からの説明が終了しました。質問等ありますでしょうか。

E 委員 駅前公園の中に、トイレなどの設備は設置されるのでしょうか。

事務局 駅前公園から近い梶野公園にトイレが設置されることになりまして、将来的には高架下に計画している市の施設にも設置されると思いますので、それらで代替できると思います。

会長 夜にも安心して使えるトイレがあるのは大事なことだと思います。ただ、駅前広場の中にトイレがぽつんと設置してあるようだと、景観上問題があると思います。

F 委員 前回の話で大型のバスは使わず、小型のバスを使うということだったと思いますが、バスの占有面積は駅前広場の何パーセントくらいになるのでしょうか。

事務局 警察と協議中なのでパーセントまではまだ出ていませんが、乗降用の各バスバスとタクシー乗り場、身体障害者用の乗り場などを考えているので、これらの交通機能を確保する為にかなりの面積が必要になると思います。バスの大きさについては小型のバスということではなくて、なるべくコンパクトなバスを使ってもらえるようバス事業者と協議中です。現時点ではバスの長さを 10.5mまで縮めることができそうです。そうなれば標準タイプのバスに比べて占有面積を小さくできます。

F 委員 駅前広場と駅前公園が一体的に使えるような整備計画を考えたいですが、それが実際にできるのかどうか検討するためにも、交通機能を確保する為の面積がどのくらい必要なか知りたいです。

会長 我々の財産である駅前広場を、将来の為にもちゃんと整備しておきたいという要望です。ただ私にも経験がありますが、バス事業者に対しては協議が難しいところはあります。まずは停留するバスやタクシーなどの台数から、おおよそ必要な面積を試算してみて、目安がつかめるようにしていただきたいと思います。

事務局 駅前広場と駅前公園との間に、東西に 16mの都市計画道路が横断しているため、一体的な利用は難しいと考えています。それと広場的な要素として、駅前公園を駅前広場の前に持ってきたという事情もあります。あくまでも広場としての利用については、駅前公園を使うということをご理解願いたいです。いずれにしても、警察との協議を踏まえて、早い段階でおおよその目安を提示したいと考えています。

C 委員 自転車の扱いをどうするのか、議論しておく必要があると思います。自転車で駅に来られる方が多いので、駐輪場所が少ないと駅前が混雑すると思います。それから、東小金井に来られた方々が散策される際の玄関口として考えるならば、レンタサイクルなどを整備して、駅や公園を繋ぐことができればよいと思います。

会長 自転車対策について市としての考え方、今後の方針などを教えてください。

事務局 自転車対策については、高架下を利用して駐輪場を整備できるよう JRと現在協議を行なっているところです。それからレンタサイクルについては上位計画として計画があり、実際に事業として整備運営していけるのかどうか現在協議中です。

G 氏 (傍聴) シルバー人材センターを使うなどしてうまく整備をすれば、観光客も呼び込めるし東小金井の大きな資源になると思います。

H 委員 商工会も協力することができると思います。商工会が協力して整備を進めれば、より小金井らしい事業になると思います。

会長 都ではレンタサイクルのような事業に対して、補助金制度はないのでしょうか。

I 委員 補助金制度はありません。

H 委員 商工会が行う事業に対して、市の補助金制度があったと思います。

会長 走った距離に応じてポイントがついて、それで買い物ができるというポイント制度のあるまちもあります。そのようなやり方も面白いと思います。それからレンタサイクルで使う自転車は、中古自転車を再利用するのでは見た目が悪く敬遠されてしまうので、レンタサイクルが普及しているフランスで使われているような、かっこいい自転車が使えたらよいと思います。実際に使われている自転車の写真やカタログ、レンタサイクルの事例など、次回の協議会までに資料収集をお願いします。

事務局 日本国内においても、地方の観光地などでレンタサイクルを行っていると思うので、そういった事例も参考にできると思います。

F 委員 駅北側の駐輪場については、高架下に全て集約するのでしょうか。

事務局 その予定です。JRから市が高架下の面積をどれくらい借りられるのかは協議中ですが、北口の現在の駐輪収容台数が約4,800台ですが全てになります。幸い東小金井は、駅の北側も南側も駐輪場は充足しているので、高架下に集約する場合も、現状並みの駐輪台数が確保できればと考えています。

C 委員 駅前が商店街として発展するのであれば、自転車の台数が相当増えることを想定して、駐輪場の整備をした方がよいと思います。

H 委員 緊急車両が通れないほど自転車が止まっているところもあります。今回の整備でも駐輪の問題は最初から徹底的に取り組まないと、同じ様な事態になりかねないと思います。

J 委員 市が整備する駐輪場とは別に、JRにも駐輪場の整備をお願いするのはどうでしょうか。

事務局 近隣の市と連携して、鉄道事業者の義務として駐輪場の整備をお願いしているが、なかなか良い返事がもらえないのが実情です。

会長 高架下に駐輪場が確保できそうだし、土地活用として民地で駐輪場経営をやられる方も出てくるかもしれません。小金井市で駐輪場の附置義務を条例化するという方法もあります。市全体の問題でもあるし、皆で守れるような約束事がつくれないか、この会議のなかでもよく検討していきたいと思います。

K 委員 駅に徒歩や自転車で来る人が多いということは、雨の日などは送迎の車で混雑するのではないのでしょうか。

会長 たしかに雨の日には極端に車の数が増えるかもしれません。そういった雨の日の送り迎えのことや、身体障害者の方の送り迎えのことなども大事な問題だと思います。どのように整備を行うのか、今後十分に検討する必要があると思います。

L 委員 東小金井駅は他の駅と比べてバスの利用が少なく、歩行者と自転車利用者の割合が多いのが気になります。雨の日や寒い日などに徒歩や自転車を使うことは、女性や高齢者にはとても辛いことだと思います。交通手段のバランスについても検討した方がよいと思います。

M 委員 中央線の駅のなかで、バスの路線が1路線だけしかないのは東小金井だけです。田無の方から来る人達の多くは自転車を利用されているのが現状なので、バスの路線を増やすなど、もっとバスを活用した方が自転車は少なくなると思います。

会長 武蔵小金井駅のように、バス交通のためにあまり面積を使いたくないという思い

もあります。そして今回の計画によって、武蔵小金井駅と東小金井駅で良い役割分担ができていていると感じています。つまり武蔵小金井駅の駅前広場はバスの交通を担い、東小金井駅の駅前広場はバスの為の面積をあまりとらずに、人間味のある広場が計画できたら良いなということです。

L 委員 東小金井駅から小金井公園に行くバスの路線がありません。東小金井駅が小金井公園の最寄り駅だし、また小金井公園の目の前は桜の名所なのに、そこを通る路線が無いのは残念です。少なくとも、東小金井駅から小金井公園に行けるバスの路線がほしいです。

会長 年中運行させるのではなく、例えば桜のシーズンやお祭りなどの、イベント時に臨時運行するという方法も考えられます。土地の有効利用の上からも、1つのバスバースをいろんな路線のバスが上手に使った方が良く、なるべく少ないバスバースをいかに上手に利用できるか、今後も皆で検討したいと思います。

E 委員 駅前の通りが商店街として発展していくなかで、車で買い物に来られる方もいると思いますが、そういった方のための駐車スペースを、コインパーキングのようなかたちで設ける考えはあるのでしょうか。

事務局 計画している車道の幅員は、路側帯に車が停車した時にバスがやっと通れる程度の幅しかないので、路上パーキングなどの設置は難しいと考えます。

会長 道路内には駐車スペースが確保できないようなので、店舗をつくる時には違法駐車が出ないように、敷地内に来客用の駐車スペースを確保するなどのルールづくりが必要だと思います。

D 委員 事務局に質問ですが、開発指導要綱のなかに駐車場の附置付置義務はありますか。

事務局 附置義務はありますが、その内容が現状と乖離している部分があり、実際のところ附置義務を果たすのは厳しいということで、市としては個別に対応して、なるべく現実的なかたちで、取り扱えるように見直しを行っていくと伺っています。

D 委員 個別に事業者が来客用の駐車スペースを確保するというのは、まちを分断する可能性があるのですが、中心市街地では駐車場を集約するというやり方もあります。また別のまちの話ですが、駐車場は有っても誰も使っていなかったということもあるので、駐車場が有ればよいという問題でもありません。理想的な解決方法が確立されていないことが、この問題の難しさを表しています。

N 委員 駅前広場や公園はたまり場になり犯罪につながる恐れがあります。犯罪対策はどのようにお考えか教えて下さい。

事務局 駅前広場に交番を設置する事を考えています。それから地域安全課の方で、青色パトロール隊を組織して巡回を行っています。ただし巡回は昼間だけなので、夜間については、警察にパトロールをお願いすることも考えられます。

会長 犯罪対策は大事な問題です。例えば植栽についても植え方によっては見通しが悪くなり、そういった死角を狙って犯罪が行われることがあります。具体的に駅前広場の設計に入った時には、皆で危ない場所がないかよく検討しないといけないと思います。それから交番を設置する時には、交番の他にもパトカーの駐車スペースなどが必要となり、広場の面積をかなり取られることになりかねないので注意が必要だと思います。

- 委員 ビルなどの建物が建ち始めているが、そういった建物と道路や周囲の環境整備の進み具合とのバランスが気になっている。建物が建ち始めているなかで、道路の整備などはバランスよく進むのでしょうか。
- 会長 駅前広場や公園、道路などが計画的に整備されて行くなかで、その周囲を取り囲む建物にはルールのようなものが無く、バラバラに建てられるのには問題があるのではないかというご意見だと思います。建物については高さ制限を設けるなど、一定のルールづくりはたしかに必要かもしれません。
- 委員 進捗状況も気になっています。建物と市の整備が上手いバランスで同時進行することが望ましいと思います。
- 会長 建物については個人事業主なので個々の体力に差があり、同時進行というのはなかなか難しいとは思いますが。ただ○委員のご意見はとても大事な問題です。公共施設整備と周囲の建物との事業展開について、それから建物のルールづくりについて、次回には事務局の方から何かしらの提案を出してほしいです。
- D委員 地区計画が決められて都市計画決定されている内容があるはずなので、次回一度おさらいをして内容の再確認をしてから、それを踏まえた上で今後の対応策を検討するのが良いと思います。
- J委員 街路樹と街路灯については、どのような整備イメージをお考えなのでしょうか。
- 事務局 20m道路の方だと1m～1.5m程度の幅の植樹帯を考えています。そのくらいの幅があると、植樹のパターンはいろいろ考えられますので、今後はその植樹のパターンをご提示したいと思います。街路灯も同様のことが言えるので、街路灯についてもパターンをご提示したいと思います。
- 会長 では最後にI委員とD委員から感想も含めて一言ずついただきたいと思います。
- I委員 今日の議論は非常に興味深いものでした。人も自転車もバスも車も皆が駅前広場を使いたいというなかで、どのような割合で配分して使うのか、市の方である程度の計算をして想定をしないと、整備イメージも固まらないと思います。そしてその際に注意していただきたいのは、現状のまちで考えるのではなく、駅前が整備された後の人の流れはどうか、連続立体が完成し南北が繋がった後の人の流れはどうか、そういった将来のまちの様子を考えながら作業を進めていただくと、さらによいまちづくりができるのではないかと思います。
- D委員 非常に楽しい議論でした。また今後、これまでの議論を基にした絵ができあがった時が非常に楽しみです。これから夏になるし、いろいろな場所に行っているいろいろなものを見て触れて、そこから学んだものをうまく活用して小金井ルールに変えていければ、もっともっとまちづくりが楽しくなるのではないかと思います。
- 会長 前回に引き続いて今回も活発なご意見有難うございました。では次回の検討内容について、事務局の方からご説明をお願いします。
- (コンサルより次回の検討内容についての説明)
- 会長 こうやって皆さんからいろいろなご意見をいただいて、活発に議論をしていることこそがまちづくりだと思います。区画整理事業のなかでの限界はあるかもしれませんが、その限界のなかでも、皆で議論することで次世代に残せる素晴らしいまちづくりができればよいと思うので、今後もよろしくお願いします。それでは最後に、事務局より次回協議会の日程について説明をお願いします。

事務局 次回の協議会は10月頃を予定しております。基本的には第2月曜日に行うことを決めさせていただきましたが、10月の第2月曜日は祝日なので、その場合は翌日の10月13日火曜日が第1候補となるのですが、その日は市議会の開催との都合で見合わせていただきたく、次回の協議会はその翌週の10月19日の月曜日でお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(次回協議会は10月19日(月)の同時刻の開催に決まった。)

会長 皆様、長時間ご苦勞様でした。以上をもちまして、平成21年度第2回東小金井駅北口まちづくり協議会を終了させていただきます。